

中央図書館・田無公民館耐震補強等改修工事基本設計市民説明会報告

【中央図書館・田無公民館】

開催日時	令和2年7月31日（金）第1回 19時00分～19時25分 令和2年8月 1日（土）第2回 10時00分～10時40分 第3回 13時00分～13時50分 第4回 16時00分～16時40分
会 場	田無公民館 視聴覚室
参加者数	事前申込：34人 当日申込：2人 欠席：3人 参 加 者：33人（第1回6人、第2回14人、第3回8人、第4回5人） 職 員：9人（図書館長、公民館長、建築営繕課長、図書館副館長、公民館長補佐、図書館庶務係長、公民館事業係長、建築営繕課主任、建築営繕課主事） 設計業者：3人（日総建 3人）
資 料	中央図書館・田無公民館耐震補強等改修工事基本設計説明会 田無公民館耐震改修工事休館に向けた類似施設設備状況一覧
次 第	1 出席者紹介 2 耐震補強等改修工事基本設計概要説明 3 休館中の対応について 4 質疑応答
図書館長	令和2年度末までに中央図書館・田無公民館施設の使用を終了し耐震改修を行うとされている西東京市耐震改修促進計画に基づき、来年3月末に休館し来年度に耐震改修工事を行う。施設の安全性を高める耐震補強と、利便性を高める施設内のレイアウト変更を行うもので、施設の休館は来年4月から翌年3月までの1年間を予定している。これにより、昨年度は工事の基本設計を、今年度は実施設計を進めており、本日はこの基本設計の内容をみなさまにお知らせするとともに、ご意見を賜りたいと考えている。
2 耐震補強等改修工事基本設計概要説明 日総建	資料を使用し、建物概要説明及び改修計画の概要、工事工程、改修内容について説明する。
3 休館中の対応について 図書館長 公民館長	図書館では、臨時窓口を周辺施設に開設し、予約資料の受け渡しのほか、地域・行政資料室を移して、代替サービスとする予定である。 公民館では、他の公民館をご利用いただきやすくなるよう、今年度中に全館で利用時間区分の見直しを行い、4区分にすることで、利用枠の拡充を図る予定である。 団体連絡箱については、3月上旬までには引き上げていただきたい。休館中の利用については、休館中の主となる活動場所と他の公民館ロッカー利用希望調査を実施し、その結果を受けて他の公民館へのロッカーの増設などを検討していく（田無公民館のスチールロッカーを移設するなど）ので、できるだけ早く来年度の主な活動場所を決めていただきたい。参考としていただきたいのが、資料「類似施設設備状況一覧」である。例えば柳沢公民館、芝久保公民館を比較しても当然利用率が違う。利用率が高い公民館は部屋の予約を取るの難しいのが現状である。芝久保公民館は活動室の予約も取りやすい上、団体連絡箱も空いているので参考にいただきたい。 施設一覧は、平成30年度の説明会でお配りしたものを今年5月現在の状況に更新し

	たものに、新たに調理ができる部屋の一覧と陶芸ができる部屋の一覧を加えたものである。田無公民館利用者については、9 月に実施予定の利用者懇談会（9/5 土）でも説明させていただくほか、個別の活動相談会なども行っていく予定である。
主な意見等 Q…市民 A…図書館・公民館・建築営繕課	1. 耐震改修工事の内容について Q：<u>ロビー</u>を拡張するということだが、事務室は狭くなるのか。 A：現在の事務室の南側にある、講師控室や休憩室等の職員が使用しているスペースを改修して事務室を移設し、ロビーを今よりも拡張する。これまでロビーで勉強する人と、歓談や休憩する人が混在していたが、エリアを分ける。また、公民館まつりや作品展展示会のときは広く利用できるよう、フレキシブルな対応可能なレイアウトにしたいと考えている。 Q：地下実習室の調理台更新とあるが、ガス台のついたものが新しくなるのか。 A：位置はそのまま、IH ではなくガスで全て新しくなる。作業台については、木工などに使うため、そのまま使用する。 Q：1 階に新設される授乳室の設備については、保育室利用者の意見を聞いてほしい。あるとよいと思っていた誰でもトイレが新設され、さらにそこにおむつ交換台も入ることは良いことだ。 A：授乳室には洗面台とおむつ交換台も設置する。それ以外は意見を聞きながら対応したい。 Q：授乳室（おむつ交換台）は、各フロアに設置されるのか A：授乳室は1 階ロビーの一角に1 カ所新設する。おむつ交換台は、各階の女性用トイレも男性用トイレもスペース上設置することが難しいため、1 階のだれでもトイレと授乳室に新設する。現在設置しているものもそのまま使用する予定。 Q：視聴覚室の照明を LED 化する際に、部分的に照明をオン、オフできるような設定にしてほしい。 A：そのようにする予定である。 Q：音出しができる部屋は、これまでと変わらないのか。 A：音出しができる部屋は3 階と地下の部屋で改修工事後も同じである。 Q：音出しができる部屋の防音対策はどうなっているか。 A：完全な防音室は困難である。音漏れが少なくなるよう、吸音性の高いカーテンを設置するなど、耐震補強工事の中でできる範囲の防音対策を行っていく。 Q：新設される3 階の活動室は、音出しは可能か。 A：3 階の調整室と倉庫を一つにして新たに活動室を設ける。田無公民館は3 階と地下実習室が音出しのできるエリアであるので、活動室も音出し可能である。 Q：団体連絡箱は、改修後どこに設置されるのか A：1 階は連絡箱がなくなり、2 階に新たに作り付けの連絡箱を設置する。1 階のスチールロッカー2 台は別の階に移設し、一階ロビーを広く使えるように考えている。ロッカー数は同じである。 Q：ロッカーの荷物はいつまでに引き上げるのか A：3 月末に公民館を閉めるので、3 月前半ぐらいまでには引き上げてもらいたい。9 月に行う利用者懇談会で説明するが、個別の活動相談も実施していく。 Q：男女のトイレを分けるときに男性はブルー、女性はピンクという分け方はしないでは

しい。壁の色も同様。

A：ご意見として承らせていただく。

Q：トイレの洋式化とは、暖房便座とウォシュレットがつくのか

A：暖房便座でウォシュレットである。

Q：地下トイレについて、男女分けられないか

A：現在は男性用トイレの出入口に鍵をかけて単独で女性も使用している。スペース上、男性用、女性用に分けてトイレを作ることは困難であるため、完全独立型の個室トイレを3つ作る。一つの個室の中に、洗面台と鏡もついており、そこで完結できる個室を3つ用意し、男性でも女性でも利用できる個室空間にする予定である。

Q：男女空間が一緒になることはないのか

A：空間が一緒になることはない。

Q：地下実習室は調理ができるところでもあり、お母さんの参加者やカリキュラムにより参加者層も変わるので、地下の男女別トイレをできる範囲の中でぜひお願いしたい。

A：設計の方から説明させていただく。イメージとして喫茶店のトイレなどで2つトイレがあり、1つは男性用、1つは女性用、場合によってはもうひとつ男女兼用のサインがついているトイレをご覧になったことがあるかと思う。3つの完全独立型の個室を作ることによって運用を考えている。現状の問題は、入口に入って手洗い場と男性の小便器があり、その奥に大便のブースがあることだ。男性が用を足しているときに女性が入って大便ブースに入ることははばかれるため、男性小便器を取り外し、3つの完全独立型の個室を設けることで改善しようというものである。廊下を拡張し(中まで通して)、廊下に面して3つの完全独立型の個室トイレが並ぶことになる。

Q：改修工事をする、今後どのくらい利用できるのか

A：選択肢が2つあり、施設の長寿命化と、今回のようにレイアウトの更新も含め、コンクリート造りの寿命が一般的に50年と言われているので、現在45年経過しているので工事することによって10年程度の利用延長が可能になり、今後15年は使える施設になる。

空調設備は15年より更に使えるので、どうするかはその時に決める形になる。施設としては15年もつという前提で、今は施設運営を続けていく予定である。建て替えるか更に延命措置をするかは、市の公共施設の考え方に基づくため、10年ぐらいの時点で検討すると思われる。

Q：受水槽を製造している会社が減っていると聞くと今後部品等無くなることはないのか

A：新たに建設される建物は直結型であるが、今回は受水槽を改修する方針である。毎年水質検査をしており、できるだけこの形でいきたいと考えている。

Q：第一学習室と第二学習室の間の壁に通常使用しない扉があるため音漏れがする。避難経路に問題なければ壁に変えてほしい。

A：避難経路を確認し、問題がなければ対応したい。

Q：空調設備はどこにあるのか

A：空調機は各フロアに機械室があり、屋上に室外機がある。それぞれの設備を新しい機能のものに更新していく予定である。

Q：屋上の防水改修と温暖化対策についてはどうするのか。

A：屋上防水改修工事に関しては、これまでも部分的に改修を行ってきたが、まだ雨漏

り等が見受けられるので、今回の耐震改修工事に合わせて防水面を是正していく。
温暖化とは直接結びつかないかもしれないが、建物の断熱性能を上げようとする、
大がかりな工事になるので、耐震改修工事の中でできる限り機能向上を図っていく。

2 休館中の市民活動について

Q：公民館全館で今後、利用時間区分を3区分から4区分に分けるのか

A：田無公民館は市民会館閉館に伴い部屋の確保が難しくなっている。また、耐震改修で休館を控えていることから、8月から他館に先行して利用時間区分を4区分にして利用いただける状態になっている。他の5館は今、アンケートを実施している。その中で、いくつかの案をお示しし、最も使いやすいとされる時間帯で統一を図りたいと思っている。

Q：工事期間中は他の公民館を利用するということか。

A：配布資料は目的別に利用できる施設が記載されている。公民館だけでなく、市民交流施設なども一覧に記載されているので、参考にしていきたい。

Q：抽選申し込みとなるのか

A：公民館は抽選申し込みとなる。利用率の少ないところを申し込んでいただく方が当選する確率は高くなるので、資料の利用率の欄を参考にしていきたい。

Q：休館中はどこで調理実習できるのか

A：資料に調理設備がある部屋の一覧を追加したのでそちらを見て、団体の人数などに応じた施設を参考にしていきたい。田無公民館の実習室は、料理団体だけが使っているのではなく、音出しの団体や木工の団体が使うなど多目的に使えるので利用率が高いが、他の施設の調理実習室は料理のみで使っている部屋なので、利用率がさほど高くないため、とりやすいのではないかなと思う。

3 休館中の公民館事業について

Q：公民館主催事業は休館中どうなるのか

A：継続的に行ってきた課題を考える事業、障害者学級、地域連携事業は、休館中も切れ目なく行っていく予定である。実施場所は市民活動の妨げにならないよう、公民館以外の施設や学校施設での実施なども検討していきたい。

職員は柳沢公民館の事務室に場所を移す予定だが、田無公民館として事業を実施するので田無公民館の電話は通じるようにする予定である。

Q：公民館として続けてきた事業を、私たちも協力するのでやれるよう工夫してほしい

A：ご意見として承らせていただく。

4 図書館利用について

Q：ネットで予約できたと思うが、休館中は借りられないのか。

A：中央図書館は施設も資料もが使えなくなる。市内の図書館の蔵書を臨時窓口に取り寄せて、本を受取ることは可能である。基本的にはネット予約をお願いする形になる。